

地域の素材と人々の願いを取り入れたCMづくり

愛知県扶桑町立柏森小学校 野沢 卓也

1 「お願い！テレビCMをつくって！」

本校のある愛知県扶桑町は、守口大根を使った「守口漬」の生産で全国的にも有名である。本校の職員である近藤さんが、町おこしの一環として、守口漬とパンケーキを組み合わせた洋菓子『漬けもの語り』を開発し、地域の行事で提供を始めた。

近藤さんから児童に、『漬けもの語り』をもっと広く知ってもらうために、テレビCMをつくってほしい。」との依頼が来た。児童は、「扶桑町と近藤さんのためにがんばろう。」「たくさん売れるように工夫しよう。」とCMづくりにやる気を見せた。そこで、「放送局の働き」「情報と社会」学習後の発展的な学習として、CMづくりに取り組んだ。

2 CMづくりの計画を立てよう

まず、近藤さんと守口漬工場の方の話、3年生での工場見学、テレビCMのイメージから、4人のグループでCMの大テーマを考えました。児童は、『漬けもの語り』よ、はばたけ！』などのテーマを出した。次に、3つの条件でCMづくりを進めることを確認した。

- 紙芝居形式で発表する。
- 15秒間、8カットで制作する。
- 写真、BGMを使用する。

3 発表会で近藤さんに聞いてもらおう

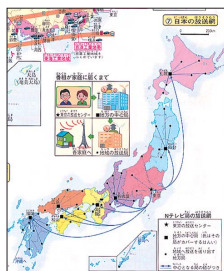
準備、中間発表会を経て、近藤さんを招いた発表会を行った。各グループはビデオカメラでの撮影を通して、CMの概要と作品の発表をし、近藤さんの感想を聞いた。「私の願いをよく理解していましたね。」との声に、児童は達成感に満ちあふれた笑顔を見せた。

ある児童は、「近くの町だけでなく、全国

に伝わるといいな。でも、全国のテレビ局には自分で行けないし、無理かな。」と感想を述べた。この感想から地域と全国を結ぶ情報ネットワークに気づけるのではないかと考え、地図帳を活用した授業を行った。

4 日本の放送網を地図で探ろう

地図帳（帝国書院『楽しく学ぶ小学生の地図帳』（初訂版）p.60「日本の放送網」を開き、まず、題名と★や■などの記号の意味を確認した。次に、「扶桑町から一番近い放送局を指で押さえない」（名古屋）「そこから線や→をなぞると、どこへ行けますか」（すべての地方放送局）「一番多く指で押さえた放送局はどこですか」（東京）とテンポよく発問を続けた。最後に、左下図「番組が家庭に届くまで」を活用し、各自が日本の放送網について文章でまとめた。



『小学生の地図帳』（初訂版）p.60



リハーサル

児童は、「北海道からの生中継をなぜ愛知県で見ることができながわかった。世界の情報網はどうだろう。」などの新たな疑問を抱いた。

5 体験活動と資料読解を組み合わせよう

授業後、TV局の編成担当者にCMを見て評価をもらうことができた。「『おいしい！』をどのように伝えるか、より深く考えてみよう。」等の指摘をいただき、児童は、CMづくりの厳しさと奥深さを感じることができた。

今後とも、“体験的活動”と“地図やグラフの読解”を組み合わせ、児童自身が気づき、根拠をもった考えを述べることができる学習を意図的に仕組んでいきたい。